

今後の東北地方における給油所の早期再開に向けての緊急対策について

2011年4月1日
石油連盟

① 石油各社は、それぞれのWEBサイトにおいて、被災地域における給油所の営業情報を公表し、これを適宜更新します。
(4月1日より元売各社判断のもと実施)

② 石油連盟においては、石油各社のWEBサイトに掲載された上記①の情報を取りまとめ、各県の対策本部に送付し、関係市町村等に配布することを依頼します。

(注) なお、営業情報が公表されることにより、営業している給油所に消費者が殺到し、給油所の在庫が早めに払底したり、暴力行為など給油所の営業の継続が困難となるような事態に至った場合には、給油所を閉店せざるを得ない状況になることをご理解下さい。

③ 給油所の空白地域においては、早期に固定給油所を再開することが根本的解決です。石油各社は給油所の被害情報を相互に持ち寄り、給油所の空白地域を特定し、各給油所に適した対策として、ポータブル計量器、足こぎ式ポンプといった暫定対策を実施しています。あわせて、一日も早い給油所の再開を目指します。

④ 民間の給油所が営業を再開していない地域におけるドラム缶の仮設ミニSSに対するガソリン供給継続については、現在実施している自衛隊による全面的な協力という枠組みのもとで、石油会社として最大限協力できるよう地元の給油所経営者にも協力を求める所存です。

⑤ 営業している給油所の一部において、給油待ちの列が長くなっているところもあります。これについては、徐々に回復していきますので、もう少しご猶予を頂きますようお願いいたします。最低限必要な給油を行っていただき、必要以上のものは自粛して頂くよう、ラジオ放送などマスコミと自治体を通じてお願いを行うことといたします。ご理解をお願いいたします。

以上